

試 験 報 告 書

依 頼 者 株式会社 リナック八千代

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 Osmo

表 題 浸出試験

2022 年 03 月 11 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

浸出試験

1 依頼者

株式会社 リナック八千代

2 検体

Osmo

3 試験概要

検体を依頼者指定の条件でモルタル片に塗布し乾燥させ供試片を作製し，供試片について JWWA Z 108 : 2016「水道用資機材の浸出試験方法」により，六価クロム化合物の浸出試験を行った。

4 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 浸出試験結果

項目	結果	定量下限
六価クロム化合物	検出せず	0.002 mg/L

5 試験方法

1) 供試片の作製

検体をモルタル片に塗布した後、約23 °Cで24時間乾燥し、供試片とした。

なお、検体を塗布しないモルタル片を空試験用供試片とし、同条件で静置した。

2) 浸出操作

供試片を水道水(東京都多摩市)で1時間流水洗浄した後、精製水で3回洗浄した。次に、浸出用液(pH7.0±0.1, 硬度45±5 mg/L, アルカリ度35±5 mg/L, 残留塩素1.0~1.2 mg/L)で3回洗浄した。洗浄後、供試片を浸出用液に浸漬し、約23 °Cで72時間静置して得られた液を浸出液とした。また、浸出用液に空試験用供試片を浸漬し同様の操作を行い、得られた液を空試験液とした。

なお、依頼者指定により、供試片の接触面積比は50 cm²/Lとし、コンディショニング操作は省略した。

3) 測定方法

測定方法を表-2に示した。

表-2 測定方法

項目	測定方法
六価クロム化合物	誘導結合プラズマ質量分析法

以 上